

地域社会の子育て機能の向上につなげる仕組み

(子育てコミュニティソーシャルワーク)

現状・課題

家庭の子育て機能の低下が見られる

地域では子どもや子育て家庭とつながりにくい

組織・団体など、お互いの活動がよく見えていない

条例で新設

市の責務

地域住民等の主体的取組み・自主的な企画・運営による活動の奨励・促進

子どもの育ちを支えるネットワークの主体的な形成・拡張・継続の支援

体制

子どもに関する地域活動の連携・推進体制づくり

庁内体制として

- ・ 児童福祉、青少年育成、社会教育、地域振興分野など、行政・地域団体等との連携を強化するための体制として庁内会議を設置
- ・ 庁内会議において、子どもの育ちを支える視点で地域社会へ働きかけていく方策等を、協議し推進

子育てコミュニティワーカーの配置

地域に出向き

- ・ 子どもの育ちを支える人材等、社会資源の情報収集及び発信
- ・ 地域住民による自主的活動グループ等の活性化
- ・ その他、地域住民等の主体的な取り組みの側面支援 など

子育てコミュニティ
ソーシャルワーク

働きかけと効果イメージ

段階的に積み上げ、様々な社会資源を増やしなが、子どもを取り巻く社会環境を改善

地域課題への取組み
(虐待発見・非行化防止・子どもの安全ほか)

地域で子どもの育ちを支える意識の高まり

大人たちの主体的な取組

地域住民主体のネットワークの拡がり

拡張・継続の
支援

働きかけ

大人・子どもの「顔見知り」の関係の拡がり

活動のリーダー等の
スキルの高まり

相互の人材活用

大人と子ども

子育て家庭同士

組織・団体・グループ

異なる地域・分野・年代
の交流の機会(接点)づくり

活動運営のためのアドバイス、
人材、情報の提供等

働きかけ

行政(各分野)

地域課題・要支援の子ども情報